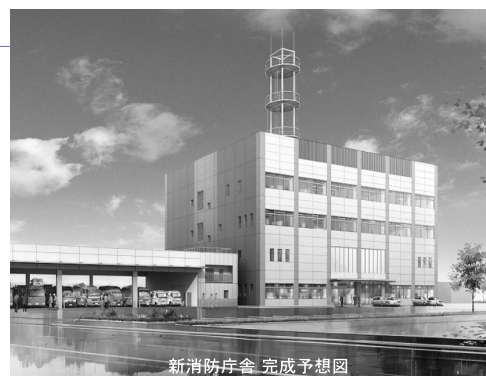


総務委員会

(1) 消防施策について

消防施策推進の中心的な拠点となる新消防庁舎については、以下の点に留意して整備を進めること。

- ①機能的な消防・災害活動が可能で堅牢な構造とすること。
- ②職場環境や省エネなどの環境面にも配慮したものとすること。
- ③市本庁舎と色彩などを統一感のあるものとすること。
- ④デジタル無線化を考慮したものとすること。
- ⑤独立した訓練棟の整備についても検討すること。



(2) 監査の充実強化について

監査を充実強化するため、現在の監査委員による内部的な監査だけではなく、必要に応じて外部監査制度を積極的に導入することを検討すること。

文教福祉委員会

(1) 学校支援地域本部事業について

- ①現在、5中学校区を中心に事業が展開されているが、その取組の中で課題を明らかにするとともに、成果のあることを積極的に発信し、他の学校区にもこの事業を拡大すること。
- ②学習ボランティア、安全安心ボランティア、環境整備ボランティアなどについては、市内一律ではなく、校種・地域の実態に応じた多様な支援活動を進めていくこと。
- ③現在、市では街づくりの活性化にむけ、地域づくり活動を進めているが、当該事業や公民館活動等との連携がとれないか検討すること。
- ④地域の教育力を学校支援に活用できるよう事務分担の整理をして連携に努めること。

(2) 図書館事業について

- ①時代に相応した市民ニーズの把握をした上で、鈴鹿市の図書館のあり方を検討し、短期的及び中長期的な全城サービス計画をたてること。
- ②鈴鹿市の文化・知の拠点、情報発信の基地となるべく、将来を見越した図書整備・各地域の蔵書の充実をはかること。
- ③図書館費予算の拡充を図ること。



生活産業委員会

(1) 災害対策について

災害対策について、防災無線の整備にあたっては、昨今の厳しい財政状況等を考慮に入れ、デジタルMCA方式等の利用についても再度検討したうえで、市民の安全・安心を第一とした有効なシステムを導入すること。